

～子どもたちは今・・・～



たまご組(0・1歳児)

12月のアドベント、クリスマスの飾りが増えていく保育室の変化に気づいた子どもたち。指をさしたり、「きれい」「ピカピカ」「サンタさん」など、声に出して気持ちを伝えてくれました。アドベントカレンダーの飾りが毎日1つずつ増えることを楽しみにしていました。保育者が飾りの入っている箱を持ってくると、今日はどんな飾りかな？と興味津々。クリスマスまで、たくさんのワクワクした気持ちを感じながら過ごしました。

1歳児は、指先も器用になり、花紙を丸めたりちぎったりする感触を楽しみながら、クリスマスツリーを作りました。それを見ていた0歳児もやりたい気持ちがふくらみ真似をして楽しみました。

1月は休み明けの生活リズムを整えながら、子どもたちの好きな絵本「おめんです」の絵合わせや手作りの駒など、お正月遊びを楽しんでいきたいと思えます。

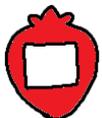


ことい組(2歳児)

12月のアドベントの期間中、クリブの前で過ごす子ども達が増え、「赤ちゃんイエスさまだね。」と話す姿がありました。また、讃美歌やクリスマスの歌を口ずさんだり、クリスマスの絵本に触れ、思いを膨らませてきました。ほし組がプレゼントしてくれたクリスマス飾りを見て、「私も作ってみたい！」と、毛糸や色紙、外遊びで見つけた葉っぱを貼り、ブーツやツリーの形の素敵な飾りを作りました。部屋に飾りを増やししながら、クリスマスの日を楽しみにしていた子どもたちです。当日は、4本のろうそくに火を灯し、おうちの方と一緒にクリスマス礼拝を行いました。園長のギターで楽しく歌いましたね。

一段と寒くなってきましたが、戸外でも元気いっぱい！すみれ組さんを追いかけて走ったり、サッカーボールを蹴って保育者と楽しんだり、砂場では山作りの楽しさに気づいた子もいます。「これがすき！」「これがしたい！」が、幼稚園の中でたくさん見つかってきました。一人ひとりの興味や関心を大切に、もっと「楽しい！」を広げていきたいです。

また、礼拝や音楽では、すみれ組・ひつじ組・ほし組と一緒に楽しみながら、「自分たちも大きくなりたい」の気持ちを膨らませて欲しいと思っています。



すみれ組(3歳児)

クリスマス礼拝に向けて、【園長に任してもらった！】という自信と期待を胸に、「聖歌隊になるぞ～！！」「おうちの人たちに、本当のクリスマスを知らせよう！」と熱心に、イエス様の生まれた話。讃美歌の意味をしっかりと覚えて、【クリスマス礼拝での讃美歌】【さいしょのさいしょのクリスマス】全部で7曲の讃美歌を歌うことが出来ました。

礼拝後のお楽しみ、クリスマスの歌は、園長のギターに合わせて全身で歌やリズムに合わせて、ノリノリで4曲。みんな口々に「たのしかった～」と言い、帰りも園長の胸に飛び込み、いつものように抱っこをしてもらい、大満足の日でした。

「ひつじ組みたいたったかな？」「大きくなったね。」「お箸も使えちゃうね～」と第3保育期に向けての期待が膨らんでいました。

いよいよ、第3保育期の始まりです。さあ、次は何をしようかな？【皆で】が楽しくなり、沢山の経験を積み重ねていき、楽しんでいきます。



ひつじ組(4 歳児)

ひつじ組クリスマスの「世界のクリスマス」でイギリス、アルプスの村、スウェーデン、メキシコと4つの国のクリスマスを伝えた子ども達。世界では、イエス様のお誕生をいろいろな方法で祝うことを知り、絵本をたくさん読んで調べました。スウェーデンの伝統的な「ルッセカット」というパンや、ハートのかごの飾り、イギリスのステッキキャンディー等を手作りしたり、メキシコのピニャタの中のお菓子も「アメをたくさん入れたいよね」「お菓子ならやっぱりチョコレートでしょ」と夢中になって、「楽しみだね！」をふくらませて過ごしました。また、讃美歌も「この言葉はどんないみ?」「きれいな声で歌ったら素敵だね」と大切に丁寧に歌おうとする姿に、日々の成長を感じました。クリスマスを経て「もっと素敵に！」をみんなで作り出す喜びが分かってきたひつじ組です。

新しい年を迎え、やりたいことがいっぱいひつじ組です。仲間との群れ遊び、クッキング、竹ぽっくり、なわとび、うたや製作…仲間と一緒にだから楽しい！を存分に味わいながら心を弾ませて過ごしていきたいと思います。



ほし組(5 歳児)

クリスマスでは自分の役に責任を持ち、堂々とした姿で、イエス様が生まれた話を伝えてくれたほし組。友達と励まし合いながら、挑戦できたことで自信に繋がりました。

そのクリスマスを経て、継続してきた竹馬チャレンジが一層勢いづいています。長く歩けるようになりたかったり、いろいろな技を習得したかったり…ゴールが一人ひとり違って良い。そのゴールだって、やりながら自分で変えていって良い。そんな風に、みんなを認め合いながら、友達と同じ空間で“一緒に”“それぞれ”で頑張っています。

この竹馬については、『みんなのスマイルが集まる日』に披露できるように、これからみんなで「どんな技を見せたい?」「どうやってやる?」を相談していきます。

また、冬休み前には自分で絵を描いて“卒園アルバム”の表紙を制作しました。製本を発注してあり、1月末ごろ園に届く予定です。子ども達一人ひとりの「手作り卒園アルバム」です。自分で写真を貼り、飾りをつけ、世界に一つの自分の卒園アルバムを作ります。

これから卒園に向かった準備をする中で、自分たちが大きくなったことを実感し、自信をもっと膨らませていって欲しいと願っています。



預かり保育(3・4・5 歳児)

冬休み中の預かり保育では、何かに夢中になっている姿がたくさん見られました。

すみれ組では、大きい滑り台や竹ぽっくり・大縄・ボール遊び等にも挑戦！寒さに負けず、戸外で体をたくさん動かして遊んでいます。

ひつじ組は、鬼ごっこやボール遊び等体を動かして、仲間との遊びに夢中になりました。憧れのほし組に縄跳びのやり方を教えてもらい、挑戦する姿もあります。

ほし組は、何日もかけて大掛かりな製作に取り組み、「すしべえ」という回転ずし屋さんが開店しました。友達とアイデアを出し合い、あれこれ考える姿はさすが年長児です。

そして、第3保育期からひつじ組はお昼寝がなくなります。ほし組がひつじ組に、幼稚園を守る作戦を伝えてやり方を教えてくれるようです。今のほし組も昨年のほし組から教えてもらい、外のそうじや砂場の片付けなどをして園を守ってきてくれました。1月からは、いよいよひつじ組も参加します。